

農林水産大臣表彰を佐竹知事に受賞報告 (秋田県仙北平野土地改良区)

4月9日(火)秋田県仙北平野土地改良区の関係者が秋田県庁を訪れ、佐竹敬久秋田県知事へ受賞報告を行いました。

受賞地区の概要

秋田県仙北平野土地改良区は、昭和44年9月18日設立、地区面積9,582ha、組合員4,793人の土地改良区で、農業・農村の持続的発展に向けた土地改良事業の推進や適切な土地改良区運営が高く評価されての受賞となった。

【取組の概要】

1 収益性が高く効率的な生産基盤の構築への取組

あきた型ほ場整備を計画的に進め、水田の大区画化や水田の汎用化・畑地化と併せ、園芸メガ団地整備や農地中間管理機構を通じた担い手への農地集積・集約化に積極的に取り組んでいる。

2 農業用水の安定供給と農業・農村の強靱化への取組

国営・県営で造成された頭首工や用水路を適切に維持管理し、広大な仙北平野の9,500haを超える農地に、農業用水を安定的に供給している。

また、大雨時には頭首工等のゲートの遠隔操作等により河川への排水調整を行うなど、地域の防災減災に努めている。

3 スマート農業導入に向けた情報通信環境の充実への取組

スマート農業の導入促進に向け、自動操舵農機の位置情報修正をするRTK基地局や、用排水路水位センサー、監視カメラ、自動給水栓等の遠方監視や制御を可能とするLPWA基地局等の設置を推進している。

4 土地改良区の組織運営基盤の強化に向けた取組

平成18年、平成28年に重複関係にあった計14土地改良区を吸収合併しながら、組織運営の効率化や組合員の負担軽減等に努めている。

また、小水力発電の整備にも取り組み、売電収入を維持管理費に充当することによる維持管理費の低減にも努めている。

さらに、県内初の賦課金のコンビニ・スマホアプリ収納を導入し、組合員の利便性向上を図っている。



(左から坂本事務局長、佐竹知事、伊藤理事長、高橋総務課長)



(佐竹知事へ受賞報告の様子)

令和6年度 事務局機構図及び職員配置

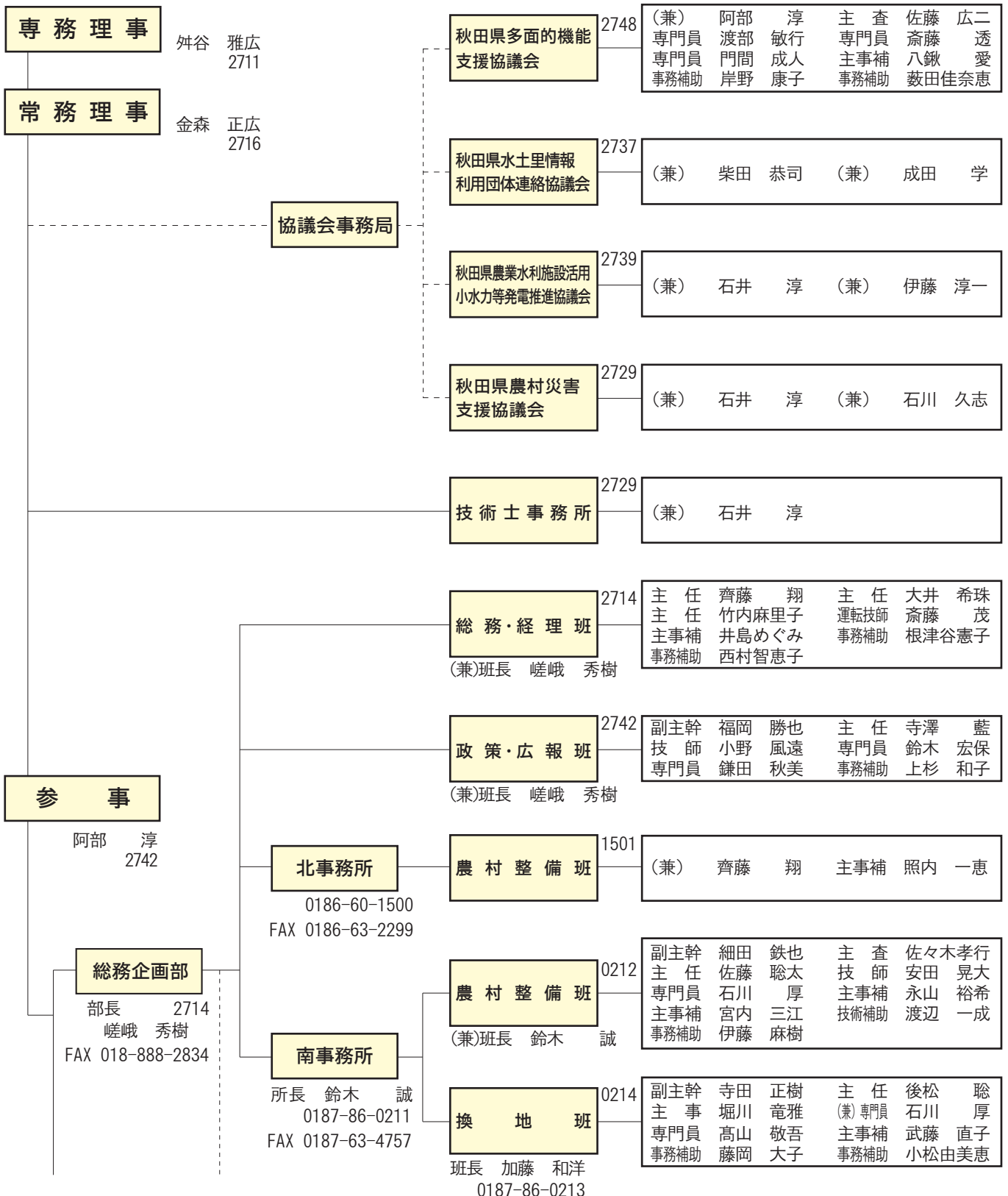
(令和6年4月1日付発令)

水土里ネット秋田では、4月1日付で令和6年度の人事異動を発令しました。事務局体制は3部11班1センター室とし、2事務所（北・南）は総務企画部の管轄になっています。

令和6年度の事務局体制（機構図及び職員配置図）は次のとおりです。

令和6年度 秋田県土地改良事業団体連合会事務局体制

電話 018-888-(4桁番号) FAX 018-888-2834(代表)



技
監

藤原慶一郎
2727
佐々木宏幸
2722

管理情報部

部長
石井 淳
2729
FAX 018-888-2835

技術・調整班
2737
水土里情報センター室

班長(兼)室長
柴田 恭司

副主幹	南 聡洋	主 査	成田 学
主 任	大山 雄平	技 師	鈴木 佳偉
専門員	佐々木定勝	主事補	筒井 千草
事務補助	伊東亜希子	事務補助	工藤真美子
事務補助	佐藤 愛美	事務補助	目黒 絵美
事務補助	桜庭 萌美 (大瀧)		
事務補助	伊藤悠里子	事務補助	長谷川春美

施設整備班
2739

班長 伊藤 淳一

主 幹	島山 将志	副主幹	千田 忠平
主 任	富岡 祥太	技 師	佐々木大義
技 師	松永 周佑	技 師	大石京太郎
技 師	保坂 幸祐	技 師	小玉 泰心
専門員	加藤 俊逸	専門員	石川 久志
専門技術員	阿部 博光	専門技術員	近藤 祐二
(兼)主事補	筒井 千草	技術補助	傘木 透

(部 付 け)

技 師	三浦 泰斗 (八郎潟農業水利事業所)
専門員	中田 直樹 (大瀧土地改良区)
専門員	伊藤 弘之 (平鹿平野農業水利事業所)
専門員	松田 光栄 (平鹿平野農業水利事業所)
専門員	倉田 朝幸 (田沢二期農業水利事業所)
専門員	織田 一広 (旭川農業水利事業所)
専門員	佐藤 雅洋 (旭川農業水利事業所)
専門員	児玉 正大 (八郎潟農業水利事業所)

農地整備班
2734

班長 米谷 瑞穂

副主幹	伊藤 一	副主幹	佐々木純人
主 査	吉岡 優人	主 任	遠藤 光
主 任	富樫 佳直	技 師	櫻庭 颯希
技 師	小濱 瑞樹	技 師	嵯峨 瑞基
技 師	島山 響大	主事補	高坂美保子
事務補助	近藤美香子		

換地1班
2741

班長 武藤 進

副主幹	鎌田 利昭	主 任	島山 範彦
主 任	島山 祐太	主 任	伊藤 吉生
技 師	久保田来希	専門員	津谷 和弘
専門員	渡辺 豊	主事補	石井 陽子

換地2班
2740

班長 田村 浩昭

副主幹	小松 敏孝	副主幹	佐々木敦志
主 任	工藤 駿	主 任	佐々木 恵
主 事	栗谷川 嵩	(兼)専門員	津谷 和弘
(兼)専門員	渡辺 豊	主事補	嵯峨久美子
事務補助	大瀧 陽子		

測 量 班
2728

班長 武石 智

副主幹	熊谷 栄一	主 査	前山 知之
技 師	齊藤 大河	技 師	門間 康太
技 師	小松 大門	専門員	佐藤 求

技術検討
プロジェクト

(兼)	阿部 淳	(兼)	藤原慶一郎
(兼)	佐々木宏幸	(兼)	石井 淳
(兼)	嵯峨 秀樹	(兼)	伊藤 淳一
(兼)	柴田 恭司	(兼)	米谷 瑞穂
(兼)	加藤 和洋	(兼)	武藤 進
(兼)	田村 浩昭	(兼)	武石 智

災 害
プロジェクト

(兼)	藤原慶一郎	(兼)	佐々木宏幸
(兼)	石井 淳	(兼)	鈴木 誠
(兼)	伊藤 淳一	(兼)	武石 智
(兼)	米谷 瑞穂	(兼)	伊藤 一
(兼)	福岡 勝也	(兼)	佐々木定勝
(兼)	石川 久志		

水土里ネット秋田 新常勤役員の紹介

4月1日付けで専務理事（常勤役員）として、舛谷雅広氏（学識経験者）が就任されましたので紹介します。

ご挨拶

この3月に38年間勤務した秋田県庁を退職し、当会専務理事に就任しました。

県では農業土木の技術屋として、主に農業農村整備や農山村振興に従事しました。

土地連では、これまでの経験を活かしながら、役職員とのコミュニケーションを大切にし、あきた型ほ場整備の推進や農業水利施設の維持・保全とともに、多面的機能支払交付金活動に対する支援等、ハード・ソフト両面において、土地改良事業の円滑な実施と農業・農村の振興のため努めて参ります。

また、土地改良の必要性や大切さについて、多くの県民の皆様にご共感していただけるよう情報発信にも力を入れていきたいと考えております。

信条は「継続は力なり」です。体を動かすことが好きで、毎週末、500歳野球の練習に汗を流しています。

よろしくお願いたします。

経歴

東京農工大学農学部農業工学科卒業

昭和61年 秋田県庁入庁

平成30年 仙北地域振興局農林部長

平成31年 県農地整備課長

令和3年 県農林水産部参事（兼）農地整備課長

令和4年 県農林水産部次長

令和5年 仙北地域振興局長

大仙市出身、60歳、技術士（農業部門 農村地域計画）

専務理事

舛谷 雅 広



新任のご挨拶

参事 阿部 淳



会員の皆様には、日頃から本県の農業農村整備事業の推進はもとより、本会の業務運営につきまして、特段のご理解、ご協力を頂いておりますことに厚くお礼と感謝を申し上げます。

本年度より全部を統括する参事職を拝命しました。

会員皆様の発展のために職員と共に全力を尽くして参りますので、ご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

技監(兼)農地整備部長 佐々木 宏幸



水土里ネット会員の皆様には、日頃から本県の農業農村整備の推進と本会の業務運営に特段のご支援を賜り、深く感謝を申し上げます。

4月より技監(兼)農地整備部長を拝命いたしました。よろしくお願い申し上げます。

さて、秋田県では、令和4年7月に「秋田県農業農村整備実施方針」を策定し、「食料供給力の強化」、「農山村の活性化」、「農村環境の維持・向上」の3つを方針として掲げております。

農地整備部では、「食料供給力の強化」の方針に沿って「あきた型ほ場整備」を始めとした生産基盤整備の調査設計、換地、換地面積確定業務に取り組み、持続可能で力強い農業の実現に向けて水土里ネット会員皆様の付託に応えられるよう全力で取り組んで参りますので、御指導、御支援のほどよろしくお願い申し上げます。

総務企画部長 嵯峨 秀樹



会員の皆様には、日頃より本県の農業農村整備事業の推進並びに、本会の業務運営につきまして、特段のご理解、ご協力を賜りまして厚くお礼を申し上げます。

本年度より総務企画部長を拝命いたしました。よろしくお願い申し上げます。

総務企画部では、会員皆様へのタイムリーな情報提供、土地改良区体制強化に向けた支援事業の推進など、会員水土里ネット皆様の付託に応えられるよう職員一同取組んで参りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

管理情報部長 石井 淳



今回、農地整備部から管理情報部に異動しました石井です。

会員の皆様におかれましては日頃より、本会の業務遂行に当たり特段のご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

私はこれまで永い間、農地整備関係の受託業務に携わらせて頂き、その中で様々なほ場整備のピフォーアフターを目にして来ました。事業地区は平場から中山間地域まで多種多様、事業実施後は地形が大きく変わります。大規模土工を伴う面的整備はダイナミックそのもので、迫力を感じました。

一方管理情報部が担う分野は、施設整備やかんばい・ため池整備、小水力発電などのほか、ストマネ、集排関連から水土里情報、更にシステム開発等々、ここには書き切れないほど多岐に渡ります。

これらは前者とは全く様子が異なり線は細いですが、どれも地域において非常に重要、または大切な役割を果たしているものばかりです。このように、趣の異なる工種を目にして少々目面食らっている私ですが、前進するしかありません。

新しい部署でも、皆が働きやすく、健康に過ごせる職場を目指し、日々精進、尽力していきたいと考えています。

困難があっても「みんなで向かえば何とかなる!」、そのような前向きな気持ちで、頑張ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。